

9. 維持管理段階への施工データ引継ぎ

■ 点群データとBIM/CIMモデルの重ね合わせ

【実施内容】 起工測量の点群データとBIM/CIMの構造物モデルを重ね合わせる事で既設の補強土壁と設計データの位置関係を確認した。

【効果】 ①既設構造物と新設構造物の位置関係を関係者間で事前確認することができ、手戻り防止に繋がった。

②維持管理時にデータを引き継げるため、次工程の効率化に繋がった。

【必要スキル】 ①3次元CADの操作 ②点群データの取得・加工



■ 3次元モデルを用いた不可視部のAR 投影

【実施内容】 iPadのLiDAR計測機能を用いて光ケーブル配管工の出来形計測を実施した。

【効果】 出来形計測結果を用いて作成した施工後の3次元モデルを活用し、次工程の効率化に繋がった。

【必要スキル】

①3次元CADの操作

②点群データの取得・加工

③VR・AR・MRの作成・投影技術



LiDARを用いた光ケーブル配管工の出来形計測結果



不可視部のAR投影状況